



## ユースフォーラムを終えて



日本西リジョンガバナー 藤井 信子

このフォーラムは2年に1回の開催である。今回より(公財)ソロプチミスト日本財団からの補助金がなくなり、主催者にとっては厳しい条件下での開催となった。沢山の新しい試みに果敢に挑んだフォーラムでもあった。それについては様々な評価があるが、主役である高校生の2日間にわたる態度、表情、発言から判断する限り、成功であったと思われる。彼女たちは「女子力アップ!～女性が夢を生きるために～」という難しいテーマを、よく身近に引きつけ、抽象論に陥ろうとする寸前、質問・発言で現実性のある議論へと自ら軌道修正し、その実力の程を見せつけた。とりわけ2日目のグループ発表はその白眉であった。どの生徒さんも持っておられる力を最大限まで発揮し、そして多分ご自分でも思いもよらなかった次元までその能力をこのわずかな日数で伸ばしておられた。若い力の躍動と自分から成長するそのエネルギーは我々に大きな感動を与えてくれた。女性としてのこれからの生き方に、高校生として参加したこの2日間がその原点になることを心より願う次第である。

講師・コーディネーターの高橋睦子教授、熱心に傍聴して下さったオブザーバーの方々、参加する生徒をご指導くださった高校の先生方、また推薦クラブの皆様方、そして最後に実行委員会の方々の献身的なご協力に心より感謝の意を表したい。41名の参加者のきらきら輝く瞳に幸多かれと祈る。